

2級損害保険登録鑑定人

簿記会計

試験問題用紙

(2021年6月)

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った受験番号を記入すると採点できませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄に楷書で記入してください。
6. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
7. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
8. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
9. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
10. 試験時間は正味50分です。
11. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
12. 試験時間中の私語は禁止します。
13. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
14. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
15. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
16. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

一般社団法人 日本損害保険協会

記述式の問題です。解答は楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

次の 1～5 の取引の仕訳を解答用紙に記入してください。

なお、勘定科目は下記の勘定科目表から最も適当なものを選んでください。

1. 新商品（1 個当たり販売価格 2,000 円）の販売に先立ち、A 商店から 50 個の予約注文を受け、商品代金全額を予約金として小切手で受け取った。
2. 得意先 B 商店に商品 495,000 円（うち消費税額 45,000 円）を販売し、代金のうち、300,000 円は B 商店振り出しの約束手形で受け取り、残額は掛けとした。ただし、消費税の処理方法は税抜き方式によっている。
3. C 商店に現金 700,000 円を貸し付け、借用証書の代用として同店振り出しの約束手形を受け取った。
4. D 商事株式会社は、設立に際し、株式 300 株を 1 株につき 60,000 円で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、設立に要した諸費用 400,000 円は小切手を振り出して支払った。
5. 本店集中計算制度を採用している E 商店の東京支店は、現金 500,000 円を大阪支店の当座預金口座に振り込んだ。東京支店の仕訳を示すこと。

《勘定科目表》

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形
売	掛	金	未	収	金	貸	付	金	
仮	払	金	手	形	貸	付	金	仮	払
積	送	品	未	着	商	品	消	耗	品
備		品	建		物	減	価	償	却
支	払	手	買	掛	金	前	受	金	
仮	受	金	仮	受	消	費	税	未	払
資	本	金	資	本	準	備	金	利	益
新	築	積	立	金	繰	越	利	益	剰
仕		入	創	立	費				
本		店	大	阪	支	店	東	京	支

【問題2】

次の1～2の問いについて解答してください。

1. 次の文の ① に入る金額を解答用紙に記入してください。

F商店(個人企業)の期首の資産総額は5,000,000円、負債総額は2,000,000円であった。当期純利益が300,000円で、期末の負債総額が2,700,000円であるとき、期末の資産総額は ① 円である。ただし、当期における資本の追加元入れと資本の引き出しはなかったものとする。

2. 次の二枚の伝票の記入を勘定口座に転記した場合、(②) と (③) に入る勘定科目を解答用紙に記入してください。
なお、これら二枚の伝票の起票日は4月26日です。

入金伝票						
科目	売掛金	入金先	愛知商店 殿			
摘要			金額			
回	収		2	0	0	0
合 計			2	0	0	0

出金伝票						
科目	未払金	支払先	福岡事務機店			
摘要			金額			
		パーソナルコンピュータ代金	2	0	0	0
合 計			2	0	0	0

現 金

4/26 (②) 200,000	4/26 () 200,000
--------------------	------------------

売 掛 金

	4/26 () 200,000
--	------------------

未 払 金

4/26 (③) 200,000	
--------------------	--

【問題3】

次の精算表の①～⑮にあてはまる金額を解答用紙に記入してください。

精 算 表

令和〇年1月1日～令和〇年12月31日

単位：円

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	300,000							
当座預金	900,000							
受取手形	200,000							
売掛金	700,000						⑦	
有価証券	1,800,000						⑧	
繰越商品	600,000						⑨	
備品	2,000,000							
支払手形		100,000						
買掛金		600,000						
前受金		50,000						⑩
借入金		1,000,000						
貸倒引当金		10,000						⑪
減価償却累計額		1,200,000						⑫
資本金		2,900,000						
売上		6,500,000						
仕入	4,000,000				①			
給料	1,300,000							
支払家賃	200,000				②			
租税公課	100,000							
保険料	120,000				③			
消耗品費	60,000				④			
支払利息	10,000							
雑費	70,000							
	12,360,000	12,360,000						
貸倒引当金繰入					⑤			
減価償却費								
有価証券()								
消耗品							⑬	
前払保険料							⑭	
未払家賃								⑮
当期純利益					⑥			⑥

<付記事項>

1. 得意先G商店から商品の注文を受け、内金50,000円を受け取っていたが、得意先G商店に対する売掛金の回収として処理していた。

<決算整理事項>

1. 受取手形および売掛金の期末残高に対して4%の貸倒れを見積る。
2. 有価証券は1株28,000円に評価替えする。なお、この有価証券はK商事株式会社発行の株式であり、当店は60株を保有している。
3. 期末商品棚卸高は700,000円であった。
なお、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
4. 備品の減価償却を次のとおり行い、間接法によって記帳する。
取得原価：2,000,000円 償却方法：定額法
残存価額： 0（零） 耐用年数：5年
5. 消耗品の未使用高が20,000円あった。
6. 保険料のうち90,000円は、本年3月1日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
7. 支払家賃200,000円は、本年1月1日から10月末までの分であり、2か月分が未払いとなっている。

<MEMO>

<MEMO>